

授業科目名 <英訳>	偏見・差別・人権 Prejudice, Discrimination, and Human Rights	担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 下林 典正
			人間・環境学研究科 非常勤講師 豊福 誠二
			人間・環境学研究科 准教授 倉石 一郎
			人間・環境学研究科 教授 西山 良平
			理学研究科 教授 長田 哲也
			文学研究科 教授 伊藤 公雄
			文学研究科 教授 木津 祐子
			医学研究科 准教授 加藤 寿宏
			医学研究科 特定助教 戸田 聡一郎
			人文科学研究所 教授 水野 直樹
			教育学研究科 准教授 服部 憲児

群	現代社会適応科目群	系列	法・倫理コンプライアンス系科目	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ
開講年度・ 開講期	2015・前期	曜時限	月1	配当学年	全回生
				対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

人間社会における偏見と差別に関わる諸問題を人権の観点から学問的に解明し、教授することは大学として果たすべき重要な基本課題であるという認識のもと、本学学生に人権問題に関する概論の講義を教授するとともに、教員自身が積極的に研究・学習する機会とするため、全学共通科目「偏見・差別・人権」を開講し、学生・教員がともに人権問題について学び、考える場を提供する。

[到達目標]

講義を通じて社会における偏見と差別についての認識を深めると同時に、当該テーマについてレポートを作成し、またディスカッションに積極的に参加することで、人権問題を自ら考える機会とする。

[授業計画と内容]

次の5つのテーマを取り上げ、それぞれのテーマに関する講義とディスカッションの組み合わせにより実施する。

i. 現代社会における人権の問題(4/13,4/20,4/27)

講義担当：国際高等教育院 非常勤講師 豊福 誠二

ディスカッション担当：人間・環境学研究科 准教授 倉石 一郎

本講座では、極右集団（自称：行動する保守）等によるヘイト・スピーチの現状と、それをとりまく法的環境、諸外国の法的規制について紹介し、人種差別・差別的表現について考える。

ii. 被差別部落に関する問題(5/1,5/11,5/18)

講義担当：人間・環境学研究科 教授 西山 良平

ディスカッション担当：理学研究科 教授 長田 哲也

日本の中世・近世を中心に身分や障がいなどによる人々の差別について検討し、また現在の部落差別に関して「差別の解消」と「秘匿・隠蔽」について考える。

iii. ジェンダーに関する問題(5/25,6/1,6/8)

講義担当：文学研究科 教授 伊藤 公雄

ディスカッション担当：文学研究科 教授 木津 祐子

性差別とは何かについて、生物学的性差であるセックスと社会的文化的性別としてのジェンダーの観点から、文化や歴史と絡めて解説します。また、現在の日本社会のジェンダー状況についても、
偏見・差別・人権(2)へ続く

偏見・差別・人権(2)

戦後社会と関係させながら論じます。性差別と密接に関係する性暴力についてもふれたいとおもいます。

iv.障がい者に関する問題(6/15,6/22,6/29)

講義担当：医学研究科 准教授 加藤 寿宏

ディスカッション担当：医学研究科 特定助教 戸田 聡一郎

地域の学校に在籍する児童・生徒のうち発達障害（自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠如・多動性障害）の可能性がある児は、6.5%といわれている。発達障害者の中には、優れた知的能力をもつ者も多いため、大学や職場で関わる機会も多い。しかし、発達障害は目に見えない障害であるため、偏見・差別が生まれやすい。本講義では視聴覚教材、グループ討論を通し発達障害についての理解を深める。

v.外国人に関する問題(7/6,7/13)

担当：人文科学研究所 教授 水野 直樹 教育学研究科 准教授 服部 憲児

日本に住む外国人の人権をめぐる諸問題を、歴史的な視点を踏まえながら考える。戦前からの在日韓国・朝鮮人、近年増えている外国人に対して、日本社会は対等な存在とみなしているであろうか。「国民」「外国人」という分け方そのものを問い返すこととしたい。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

15回(講義またはディスカッション14回、テーマvのレポート提出1回)中11回の出席を前提条件とし、試験80点、テーマ5のレポート20点の計100点で評価を行う。

試験：テーマi～ivの課題から2題を選び回答。各40点の計80点で評価。持ち込み不可。
テーマvのレポート：20点で評価し、出席1回分にカウントする。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

附属図書館、吉田南総合図書館、医学部図書館、農学部図書館に関連書籍有り。

(関連URL)

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/human_rights

[授業外学習(予習・復習)等]

講義内容を復習すると同時に、事前に与えられたディスカッションのテーマに関し、配布資料等をもとに予習した上で討論に臨む。

[その他(オフィスアワー等)]

履修定員は100名程度とする。(超過する場合は制限する)